

まちがねっ!

大阪大学に、ワニ博士あり。

大阪大学公式マスコットキャラクター「ワニ博士」が皆さまをお出迎え!

ワニ博士のまちがい探し

上下のイラストに
ちがうところが
14個あるよ!



答えは「マイハンドアイアプリ」で公開!

表紙のイラストは大阪大学の11学部を象徴するワニ博士です。皆さまと同じ学部のワニ博士をぜひ探してみてください。

《特集》

阪大の在学生・OB・OGの
生き方を丸裸にするインタビュー企画

mappa!

・カラフルスクリーム かれんさん

「しんどいときも、いつかいいことが起こる伏線」

現役阪大生アイドルに聞く、夢への前向きな追いかけ方

・a-tune 竹花実彩さん

音楽の力で、世界をつなぐ。

お互いを尊重しあえる社会を目指す学生部会「a-tune」

HANDAI Sketch

大阪大学飛行機制作研究会 albatross

阪スポ

大阪大学体育会サイクリング部
サイクルサッカー班

ワニ博士旅行記

#ワニ博士と行くノーベルウィーク2025

■ ワニ博士 (わにはかせ) プロフィール

大阪大学の全学部・研究科で学びと研究を重ね、その全ての「博士号」(V Dr.)を持つとされる博士。性格は、温厚、好奇心旺盛、努力型、お茶目、社交的、たまに天然、賢い。趣味は、化石集め(いつか自分の仲間に出会うために)。言わずもがな、阪大をこよなく愛する。誕生日は5月3日。



大阪大学「ワニ博士」

公式Webサイト



YouTube
阪大PVにも(ちょこっつ)出演中!



阪大の在学生・OB・OGの
生き方を丸裸にするインタビュー企画

mappa!

2025.10.31 vol.126

カラフルスクリーム かれんさん

「しんどいときも、いつかいいことが起こる伏線」 現役阪大生アイドル、かれんさんに聞く、 夢への前向きな追いかけ方。

15歳のときにオーディションに合格してアイドル活動をスタートし、もうすぐ丸5年。「人生の4分の1はアイドル」と話すかれんさんは、2025年6月にはメジャーデビューの夢を叶え、活躍の場をさらに広げています。アイドル活動のやりがいや喜び、その裏側にある苦労や葛藤、学生生活と両立するための工夫などについて伺うと、等身大の飾らない言葉で語ってくれました。

アイドルと学生の二足のわらじ。

理想とのギャップに悩むことも。

— 現役阪大生アイドルとして活動しているかれんさんですが、普段はどんなスケジュールで過ごしていますか？

ライブは平均で1ヶ月に25回くらいで、多いときには30回の月もあります。土日は1日2回ずつライブがあって、平日は週に2〜3回くらいですね。最近は東京に行ったり取材を受けたりする機会も増えました。

— なかなかのハードスケジュールですね！本番の他に、練習やリハーサルなどもありますよね？

はい。ボイストレーニングとダンスのレッスンは、毎週それぞれ3時間ずつあります。ただ、今年は授業の数が多くて、スケジュール調整が難しく。授業の空きコマと昼休みをレッスン時間に充てているんですけど、どうしても間に合わないときは、少し遅れて参加したり、早めに抜けたりする場合もあります。グループの中で大学生は一人なので、私の時間割に合わせてスケジュールを組んでもらっていて申し訳ないのですが……事務所の方もメンバーも協力してくれてとても助かっています。

— それでも学生生活をしながらアイドル活動をするのは大変じゃないですか？



新幹線通学の様子(かれんさんXから引用)

そうですね。体力的には大変だなと感じるときもあります。ライブや撮影のために東京に行って、その日の終電に間に合わなかったら、翌日の朝に新幹線で大学に行くこともよくあって。そんなときはとにかく眠すぎて(笑)。自分としてはアイドル活動を言い訳にはしたくないです。でもやっぱり眠い。SNS上では「しんどい」とは書かないので、ファンの人たちは「いつも頑張っていてえらいね」と言ってくさるんですけど、そんなに完璧にはできていないことは自分が一番わかっ

ているから、理想と現実のギャップを感じてしまいます。

— アイドルはキラキラした姿を見せないといけないけど、実際はギャップに悩むこともあるんですね。他にもアイドルならではの大変さを感じることはありますか？

やっぱりグループで活動している、いろんな子がいて、ときにはぶつかる場面もあります。特にワンマンライブのときは、ライブをもっと良くしたいとみんなが思っているので、「振付がちよっと違うんじゃない?」「こっこのほうが良いと思うな」と意見が飛び交って、ちよっとビビリした空気になるシーンも。でも、みんな目指していること、達成したいことは一緒だから、最終的にはちゃんとまとまるんです。

阪大生の突き詰める力、努力する力に、刺激をもらっている。

— かれんさんが「阪大生で良かったな」と思うのは、どんなときですか？

阪大には、世界的な研究者の方たちがたくさんいます。学生と教員という立場だからこそ直接お話しすることができるのは、貴重な機会だなと思っています。それから、広々とした自然豊かなキャンパスも大好きです。季節ごとの風景が楽しめますが、特にイチョウが黄色に色づく時期がすごくきれいで。真っ黄色のイチョウのじゅうたんの上を、ぼしぼしと音を立てて友達と歩く、何気ない日常が好きですね。あと、学食のごはんもおいしいです！

— 阪大生であることは、自分自身やアイドル活動に何か影響を与えていますか？

阪大生って、みんな頑張ってきた人たちなんですよ。阪大に入学するために、絶対に勉強を頑張っているし、勉強を頑張れたということは、努力ができる人たちだと思うんです。周りの友達も、高校時代から勉強だけじゃなく課外活動にも取り組んでいたり、今も学外でさまざまな活動をしていたりして、ユーモアもあってすごいなと尊敬できる人が多くて。そういった人たちと関わると、何かを突き詰めている人や努力している人のかっこよさを感じて、いつも刺激をもらって、阪大に来て良かったなと思いますね。

※2025.10.31 マイハンダイアプリ「mappa!」からの転載です。掲載情報は当時のものです。

■かれんさん プロフィール

埼玉県生まれ、大阪育ち。「あなたのココロに彩りを!」のキャッチコピーで活動する8人組アイドルグループ「カラフルスクリーム」(通称:カラスク)の最年少メンバー。2020年8月に研修生として加入し、同年12月に正規メンバーへ昇格。2025年6月にシングル「クロネッカーの青春の彩り」でメジャーデビュー。高校3年生のときには、約4か月間アイドル活動を休止して受験勉強に専念。無事合格し、2023年4月に大阪大学に入学、現役阪大生アイドルとして活動中。



ライブの様子



一步を踏み出すヒントがここに!

実は小学生の頃から人前に出るのが苦手だったという、かれんさん。彼女がアイドルを目指したきっかけを知られば、新しい一步を踏み出す勇気がさっと湧いてくるはず。学業との両立を支えているのは、誰でもすぐに真似できるタスクの「見える化」。休むときはしっかり休む、そんなオンとオフの切り替え術も、忙しい毎日のヒントになりそう。あなたの毎日がもっと輝き出すヒントが、きっと見つかりますよ。

記事全文は阪大オリジナルスマートフォンアプリ「マイハンダイアプリ」で!

※本紙では、記事全文から一部をピックアップして掲載しています。

ホーチミンで行われたジャパンベトナムフェスティバル2025に参加し、サイクルサッカーを披露した。
※マッサー……自転車走行後に選手たちの身体をマッサージする役割のこと。

来シーズンの目標

部員全員のレベルを底上げし、部内での練習・試合の質を向上させることが第一目標であるサイクルサッカー班。インカレ連覇に加えて社会人の大会での入賞を目標に、日々練習に励む。



最新の体育会の活動の様子は阪大オリジナルスマートフォンアプリ「マイハンダイアプリ」で!

HANDAI Sketch

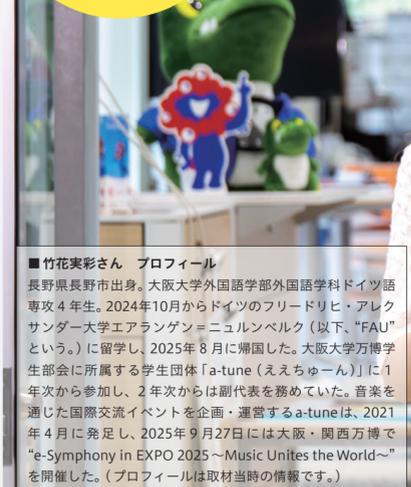


2025年、サークル創設20周年。albatrossにとって記念すべき年に、彼らは鳥人間コンテスト2025に挑戦した。長年の技術と経験を結集して臨んだその舞台で、チームは15,473.51mという圧倒的な飛行距離を記録し、悲願の初優勝を飾った。

阪大の在学生・OB・OGの
生き方を丸裸にするインタビュー企画

mappa!

2025.12.19 vol.127



■竹花実彩さん プロフィール

長野県長野市出身。大阪大学外国語学部外国語科ドイツ語専攻4年生。2024年10月からドイツのフリードリヒ・アレクサンダー大学エアランゲン=ニュルンベルク(以下、「FAU」という。)に留学し、2025年8月に帰国。大阪大学万博学生部会に所属する学生団体「a-tune(ええちゅーん)」に1年次から参加し、2年次からは副代表を務めた。音楽を通じた国際交流イベントを企画・運営するa-tuneは、2021年4月に発足し、2025年9月27日には大阪・関西万博で「e-Symphony in EXPO 2025~Music Unites the World~」を開催した。(プロフィールは取材当時の情報です。)

高校時代から憧れていた

国際交流を実現するため、a-tuneに参加。

— 竹花さんがa-tuneに参加したきっかけを教えてください。

子どもの頃から海外に興味があって。でも高校時代はコロナ禍で、海外の人たちと交流する機会がなかなかありませんでした。だから、大学では国際交流をしてみたいと思っていたんです。それから、私は長野県出身で、大学進学で初めて関西に来たので、関西や大阪でしかできないことに挑戦したいという気持ちがありました。そんなときに出会ったのがa-tuneです。国際交流ができて、しかも大阪・関西万博に参加できると知って、参加を決めました。昔から音楽をやっていたのもあって、自分にすくびったりだなと思いましたね。

— 竹花さんは2年生からa-tuneの副代表を務めていましたが、副代表としてはどんな活動をしていましたか？

副代表になってからは、代表や他の幹部メンバーと共に、チーム全体を見ながら運営していく役割を担っています。また、外部の人たちとの交流やイベント登壇の機会もあり、万博関連のフォーラムでパネルディスカッションに参加するなど、貴重な経験もさせていただきました。あとは、演奏会の開催や万博への参加には資金が必要なので、クラウドファンディングを行うなど、資金集めの活動もしていました。

— 演奏以外にもたくさんの仕事や役割があるんですね!

そうですね。その他にも、私は海外関連の活動を担うことが多くて。例えば、留学生のメンバーを増やすために、学内でイベントを開催したり、海外にいるメンバーたちと月1回「e-Symphony for Students」というオンラインの交流を行ったりしていました。特に私にとって1番大きかったのは、ドイツでの活動ですね。2年生の夏に、5日間ドイツに行って、a-tuneのドイツ拠点を作りました。その後、3年生の10月から約1年間、交換留学でドイツに行っていた期間にもメンバーを増やす活動をして、最終的には約50人が集まってくれました。

2025年、未練と重圧を抱えて進む1年であった。前年の「太陽」では大きく飛躍したものの、目標の10kmには届かなかった。その悔しさは部員たちにとって強烈なモチベーションとなる一方で、「昨年の記録を超えなければならない」という重圧としてものがかった。

そして迎えた大会本番。優勝機「白夜」はその名の通り、長く力強いフライトを見せた。結果は15,473.51m。圧倒的な飛行距離で、悲願の初優勝を果たしたのである。現役部員たちの努力はもちろん、20年にわたりalbatrossを支えてきたすべてのOB・OGの思いが結実した瞬間でもあった。

今回、優勝の立役者となったパイロット、南波圭吾さんはフライトを振り返ってこう語る。

南波「大会前には機体をみんなが完璧に仕上げられて、自身も体力を大会に向けピークにもっていくことができたので、あとは天候を信じてフライトを待つだけでした。迎えた本番では幸運にも離陸にはベストの風が吹いており、離陸は無事成功。あとは自分の体力と、みんなで作り上げた機体を信じてひたすらペダルを漕ぎ続けました。その結果15,473.51mという記録を達成し、見事優勝することができました。この結果はもちろん自分の力だけではなく、機体を作り上げてくれた同期や後輩たち、そして常に多方面で支えてくれたOB・OGや応援してくださった方々の上で成り立っていると思います。今回、多くの方々の期待に応えるフライトができたことを、大変嬉しく思います。」

2025.9.4掲載記事より一部抜粋して掲載

優勝を達成したalbatrossは既に次のステージを見つめている。大会後は代替わりが行われ、新生albatrossとなった彼らが掲げる目標はもちろん2連覇。そしてその先にある、強豪校としての地位確立までも眺んでいる。

創設20周年を迎え、新時代の暫定王者として臨むalbatross。今後はどんな景色を我々に見せてくれるのだろうか。その活躍から目が離せない。



南波圭吾さんと、優勝機「白夜」

「マイハンダイアプリ」では優勝機「白夜」制作の裏側も掲載していますのでぜひご覧ください!最新の文化系クラブの活動も満載!

※2025.12.19 マイハンダイアプリ「mappa!」からの転載です。掲載情報は当時のものです。

a-tune 竹花実彩さん

音楽の力で、世界をつなぐ。 お互いを尊重しあえる社会を目指す 学生部会「a-tune」竹花実彩さん。

「各個人が自分とは異なる相手の立場、背景をお互いに尊重しあえる社会を実現したい」。そんな思いのもとで活動している学生団体「a-tune(ええちゅーん)」。今回は、当時a-tuneの副代表を務められた外国語学部4年生の竹花実彩さんに、自身が参加したきっかけや、チームメンバーと共に乗り越えてきた課題など、これまでの活動を振り返りながらお話を伺いました。

— 50人!すごいですね。ドイツで拠点を作るのはさぞ大変だったと思います。

大変でした(笑)。最初にドイツとのつながりができたのは、私が1年生のとき。豊中キャンパスで留学生向けのイベントを開催し、そこに参加してくれたドイツ出身の留学生が、その後メンバーになってくれました。彼はFAUの学生だったので、彼が帰国するタイミングで、彼を中心にドイツからa-tuneに参加できる体制を整えるようにということで、ドイツでの拠点づくりを始めました。でも最初は本当に彼1人しかなかったりがなく、ほぼゼロからのスタートでしたね。

困難やハプニングを乗り越え、ついに念願だった万博の舞台へ。

— ずっと目標としていた舞台上がってみて、いかがでしたか。

活動を始めた頃は集客に苦戦していましたが、今回はチケットの予約フォームを公開して数時間で満席になったんです。舞台上から観客の客席を見たときは、すくろうれしかったですね。照明やプロジェクションマッピングも、演奏とともにマッチしていて、私が約1年留学して日本を離れていた間にも、a-tuneが団体としてパワーアップしたんだなと実感しました。日本で頑張ってくれていたメンバーに、改めて「ありがとう」という気持ちでいっぱいです。

— 特に印象に残っているシーンはありますか？

最後にみんなで「We are the world」を合唱したとき、a-tuneのこれまでの活動や、留学先でメンバー集めや動画撮影をしたことなど、たくさんの思い出がよみがえってきて、とても感慨深かったです。あと、実は当日、台風の影響でフィリピンのメンバーが自宅から出られない事態になって。急ぎよ、各メンバーの自宅から接続することになったので、設立当初から一緒に活動していたメンバーたちだったので、接続にも慣れていた、臨機応変に対応してくれたので助かりました。演奏中に万博会場で花火の打ち上げがあったことも、予想外のハプニングでした。花火が上がると知らなかったの、何の音だろうと動揺してしまい、演奏が少し乱れてしまったのが反省点です(笑)。

— そうだったんですね!客席からは、そうは見えなかったです。皆さんが動かないで演奏をされていてすごいなと思っていました。

動揺をうまく隠せていたなら良かったです(笑)。実は当日だけでなく、本番前から他にもハプニングが発生して。もともと予定していた海外のメンバーが、本番1ヶ月前に参加できなくなりました。急ぎよ変更してハンガリーとつなぐことになり、ハンガリーのメンバーは初めてのオンライン参加でしたが、当日うまくいった良かったです。



思いを行動に変えるには?

「スキルがないから…」と、挑戦をためらってしまうことはありませんか?竹花さんは、海外の学生と繋がるオンラインオーケストラ「e-Symphony」において、演奏だけでなく、企画・運営にも奮闘。この活動の特徴は、電子楽器「ParoTone」を使い、楽譜が読めず音楽経験が全くない人でも演奏に参加できるということ。本編では、このユニークな活動の詳細、さらに活動の幅を広げるために挑んだドイツ留学の経験談もたっぷり語っていただきました。「多様な人との協働する力」を生かして、未来へ羽ばたこうとする熱い思いと全貌を、ぜひ記事で確かめてください!

記事全文は阪大オリジナルスマートフォンアプリ「マイハンダイアプリ」で!

※本紙では、記事全文から一部をピックアップして掲載しています。

2025.6.10掲載記事より一部抜粋して掲載



快挙!インカレチャンピオン誕生!

大阪大学体育会サイクリング部サイクルサッカー班が、立命館大学びわこ草津キャンパスで開催された2024年度全日本学生選手権大会で見事優勝を果たした。大阪大学からは4チームが出場し、決勝戦に駒を進めた後藤・高木ペアは東京工業大学と対戦。手に汗握る

熱戦を繰り広げた。試合開始1分、後藤の縦ドリブルからのパスを高木が決め切り、先制点もぎ取る。勢いに乗った後藤・高木ペアは、前半で3点をリード。後半、東工大の反撃にあい2点を返されるも、終了直前の東工大のフリーキックを後藤がセーブ。劇的な幕切れで見事優勝し、日本一に輝いた。

大阪大学体育会サイクリング部 サイクルサッカー班とは

サイクルサッカーは特殊な自転車を駆使してサッカーをする2人制の室内競技である。縦14メートル、横11メートルのコートで前半7分、後半7分の計14分で試合を行い、その間ペダルから足を離すことはない。スピード感あふれる競技であり、特に自転車でのパスやシュートをする姿は圧巻である。

海外でも活躍

活動は国内にとどまらず、海外にも活動範囲を広げる。3年生の高木は2024UCIインドア世界選手権・プレメンに「マッサー」として参加し、日本代表をサポート。3年生の後藤と高木はベトナム・



#ワニ博士と行くノーベルウィーク2025

ワニ博士旅行記

ノーベル賞授賞式が執り行われた12月のスウェーデン・ストックホルム。ノーベル生理学・医学賞を受賞された坂口志文先生（大阪大学特別荣誉教授）を応援するため、大阪大学公式マスコットキャラクター「ワニ博士」もストックホルムに駆けつけました！ノーベル賞授賞式の前後の期間は「ノーベルウィーク」と呼ばれ、スウェーデン・ストックホルムを中心に、さまざまな祝賀行事が行われます。スウェーデンの文化や街並みを楽しむワニ博士の旅の記録を、マイハンダイアプリ特別編集仕様でご紹介します♪

2025.12.7



ワニ博士、スウェーデン・ストックホルムへ出発。ノーベル賞授賞式に向けて準備も万端！特別な旅がスタートです！

2025.12.9



ワニ博士、ノーベル博物館に入場！記念に同じポーズでパシャリ



ワニ博士、カフェに立ち寄りほっこりタイムの人のつながりを大切に北欧のコーヒープレイクは、「fika」と呼ばれ、スウェーデンで長く愛される習慣です。

2025.12.12



授賞式、ワニ博士は坂口先生が用意してくださったお部屋で中継を鑑賞しました。坂口先生、改めてノーベル生理学・医学賞受賞おめでとうございます。

2025.12.17



ワニ博士、スウェーデン・イェテボリから日本に向けて出発。いろいろな出会いと思い出が詰まった特別な旅となりました。ワニ博士も胸がいっぱいです。

2025.12.13



ノーベル賞のメダルチョコレート授賞式、ワニ博士も満悦。

2025.12.14



ワニ博士、ストックホルムのスーパーでお買い物。果物がこんなにたくさん！彩り豊かで素敵です。

ノーベル博物館には坂口先生のサイン入りの椅子と寄贈品が展示されています。……ワニ博士は寄贈品ではありません。

2025.12.15



ワニ博士、お散歩中にストックホルムのトラムと初遭遇。綺麗な街並みに映える青がとってもオシャレです。

2025.12.18



ワニ博士、帰国。

ワニ博士のストックホルム旅行記は大阪大学公式X、Facebookで全編公開中！ぜひ、フォローして「#ワニ博士と行くノーベルウィーク2025」をご覧ください♪

坂口先生直筆サイン入り！ ワニ博士写真集 「小さな一歩、大きな夢」

ワニ博士ファン必見
未公開写真満載！！



なんとこのたび、ワニ博士史上初となる写真集を生協から販売することが決定いたしました。ワニ博士のストックホルムでの思い出がたくさん詰まった記念の一冊です。ぜひチェックしてください！

※坂口先生の直筆サインは印刷です。

【学生団体Flagship】をもっと知ることができる記事は
阪大オリジナルスマートフォンアプリ
「マイハンダイアプリ」内HANDAI Sketchで公開中！



2026年度は「世界に通用する人材を育てる」学生団体Flagshipの先輩が担当！

「阪大用語集」

※阪大用語集から一例を抜粋

おおさか！だいがく！「大阪大学」略称は「阪大」。

この度英語名称がThe University of Osakaに統一され、生協の阪大パーカー等のデザインも変更されたとか。実は学部学生が国立大学で最多（1万5111人）、2025年5月1日時点）。関西圏以外での認知度が課題で、世間では影が薄いと言われたり言われなかったり。だが学術界への貢献は大きく、2025年には坂口志文特別荣誉教授が「制御性T細胞の発見」でノーベル生理学・医学賞を受賞し、記者会見会場にいらっしやっしたワニ博士の認知度も（なぜか）上昇した。

私たちが作りました！

「マイハンダイアプリ」内まちなねっ！で
4月1日全貌公開！

「マイハンダイアプリ」って??

ようこそ、大阪大学へ！
今日からはじまる阪大での毎日を、とことん楽しいものにするために、阪大オリジナルのスマートフォン専用アプリ「マイハンダイアプリ」をご紹介します！

インストールしてアプリを開き、「大阪大学個人ID」と「パスワード」を入力してログインすると、KOANスケジュール（時間割）や掲示板、学内連絡バスの時刻表などが手軽にご覧いただけます。

さらに、アプリからデジタル学生証・教職員証を表示させることも可能です！

また、あなたの知らない阪大を発見できるアプリ内マガジン「まちなねっ！」の最新記事を更新中！

大阪大学でのキャンパスライフを応援するために、これからもマイハンダイアプリは皆さんと一緒に進化していきます。スマートフォンをお持ちの方は、まずはダウンロードして使ってみてくださいね！



LIKE!

マイハンダイアプリ「まちなねっ！」にいいね機能ができました！
「おもしろかった」「勉強になった」「なんか好きかも」そんなとき、ぜひいいねボタンを押してみてください。

マイハンダイアプリを今すぐインストール!!

必要要件：iOS 16以上/Android 13.0以上



※スマートフォン本体の盗難や紛失に備え、パスコード等による画面ロックを必ず設定してください。



他にも！
知っておきたい
阪大再発見ツール



Facebook



Instagram



YouTube



LINE STORE



X



災害情報 X



大阪大学
「ワニ博士」

LINE ワニ博士LINEスタンプ 第1~3弾まで
配信済!!

